

(2007.3.19 更新)



第1回PCCP Prize 受賞者の決定

(社)日本化学会運営会議

昨年8月、Royal Society of Chemistry, PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussionでは“PCCP Prize”を制定し、本会に対して受賞候補者選定の協力要請がありました。本会はこの要請を受け、標記賞の受賞候補者選定に全面的に協力することを理事会で決定し、候補者を公募するとともに『日本化学会ディビジョン』主査に候補者の推薦を依頼いたしました。

去る2月20日、本会運営会議内に設置された「PCCP賞選考委員会」を開催し、締切日までにディビジョンより推薦された15名の候補者の研究内容、業績内容等について慎重かつ厳正に審査を行いました。その結果、第1回受賞者として下記3名の候補者を選出し、2月26日開催の理事会で報告・承認されましたので、報告いたします。



重田 育照 氏 (筑波大学大学院数理物質科学研究科 先端学際領域研究センター 講師)

受賞題名 『Quantal Cumulant Dynamics: Novel Quantum Theory』



唯 美津木 氏 (東京大学大学院理学系研究科 助手)

受賞題名 『Advanced Design, Characterization, and Selective Catalysis of Supported Metal Complexes and Nanoparticles』



根岸 雄一 氏 (自然科学研究機構分子科学研究所 分子スケールナノサイエンスセンター 助手)

受賞題名 『Development of Precise Synthesis Method of Thiolated-Gold Clusters and Elucidation of Their Fundamental Properties』

■本賞の選考対象・選考基準は下記のとおりです。

本会会員（ディビジョン登録者）で、物理化学、光化学、理論化学、触媒化学、電気化学、コロイド・界面化学、ナノテク・材料、分析化学などPCCPがカバーする領域で傑出した研究成果があり、将来の活躍が期待される若手研究者（受賞年2007年4月1日時点で満35歳未満の者）で、かつその成果の一部を自身が日本化学会第87春季年会で発表する者。

上記3名の受賞者には、第87春季年会会期中の第3日目、3月27日夕刻の国際シンポジウムレセプションにおいて、RSC会長のProf. James Feastより賞状（PCCP Prize Certificate for Outstanding Achievement of Young Scientists in Physical Chemistry and Chemical Physics）、賞金(一人300\$)、および記念誌(100 Year of Physical Chemistry, Royal Society of Chemistry)が授与されます。